

作成日 2012年04月27日

改訂日 2024年02月22日

安全データシート

1 製品及び会社情報

製品名 : タイヤワックス 油性
会社名 : 株式会社MonotaRO
所在地 : 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名 : 商品お問合せ窓口
電話番号 : 0120-443-509
FAX 番号 : 0120-289-888
緊急連絡先 : 所在地に同じ
整理番号 : M241115

2 危険有害性の要約

化学品のGHS分類。GHSラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体 : 区分 4
自然発火性液体 : 区分外
酸化性液体 : 区分外

健康に対する有害性

急性毒性（経口） : 区分外
皮膚腐食性／刺激性 : 区分 2
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : 区分外
誤えん有害性 : 区分 1

環境有害性

水生環境有害性 短期（急性） : 区分外
水生環境有害性 長期（慢性） : 区分外

（注）記載なき GHS 分類区分：該当しない/分類できない

GHSラベル要素

<絵表示またはシンボル>



注意喚起語 危険

危険有害性情報

H227 可燃性液体

H316 軽度の皮膚刺激

H304 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

注意書き

安全対策

- P201 使用前に取扱説明書を入手すること
- P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと
- P273 環境への放出を避けること
- P210 熱、高温のもの、火花、裸火及他の着火源から遠ざけること 禁煙
- P233 容器を密閉しておくこと
- P240 容器を接地しアースをとること
- P241 棒縛型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること
- P242 火花を発生させない工具を使用すること
- P243 静電気放電に対する措置を講ずること
- P260 防塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと
- P261 防塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること
- P271 屋外又は換気の良い場所だけで使用すること
- P264 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと
- P280 保護手袋を着用すること
- P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること
- P280 指定された個人用保護具を使用すること
- P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと

応急処置

- P370+P378 火災の場合：指定された消火剤を使用すること
- P391 漏出物を回収すること
- P321 特別な処置が必要である
- P314 気分が悪いときは、医師の診察/手当を受けること
- P308+P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当を受けること
- P312 気分が悪いときは医師に連絡すること
- P308+P311 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること
- P304+P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること

P302+P352 皮膚に付着した場合：大量の水/適切な薬剤で洗うこと

P303+P361+P353 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣服を全て脱ぐこと。

皮膚は水又はシャワーで洗うこと

P332+P313 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること

P362+P364 汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること

P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること

P337+P313 眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること

P331 無理に吐かせないこと

P301+P310 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること

貯蔵

P403 換気の良い場所で保管すること

P233 容器を密閉しておくこと

P235 涼しいところに置くこと

P405 施錠して保管すること

廃棄

P501 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

成分名	C A S N o .	含有量 (%)	化審法番号
鉍物	非公開	30 未満	非公開
※ノナン	111-84-2	21	2-9
石油系炭化水素類	非公開	45 未満	非公開
シリコーン類	非公開	11 未満	非公開

注記：これらの値は、製品規格値ではありません

(※原材料の添加量と内部の物質質量より算出)

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分 鉍油、ノナン

安衛法「通知すべき有害物」該当成分 鉍油、ノナン

化管法「指定化学物質」 該当成分 第二種指定化学物質 ノナン

4 応急措置

応急措置の記述

一般的な措置

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること

気分が悪いときは医師に連絡すること

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること
吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること
気分が悪いときは医師に連絡すること

皮膚（又は髪）に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと、皮膚を水又はシャワーで洗うこと
皮膚に付着した場合：大量の水/適切な薬剤で洗うこと
皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること
眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること

飲み込んだ場合

無理に吐かせないこと
直ちに医師に連絡すること

医師に対する特別は注意事項

特になし

5 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

火災の場合は霧状、耐アルコール泡、粉末。炭酸ガスをしようすること
使ってはならない消火剤
特になし

特有の危険有害性

燃焼の際に有毒な炭素酸化物を生成する

消火を行うものへの勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させること
漏洩した場合、着火源を除去すること
霧状水により容器を冷却する
安全な距離から散水冷却して周囲の設備を保護すること
消火水の下水への流入を防ぐ

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

防火服又は望遠服を着用すること
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること
消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

区域より対比させる

関係者以外は近づけない

換気不十分な場所で漏洩を処理するときは自給式呼吸保護具を着用する

適切は保護具を着用する

着火源を取り除くとともに換気を行う

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質（乾燥砂、土など）に吸収させて、容器に回収する

回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する

二次被害の防止策

漏出物を回収すること

着火した場合に備えて、消火用器材を準備すること

安全に対処できるならば漏えいを止めること

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

（取扱者のばく露防止）

ミスト吸入しないこと

ミスとの吸入を避けること

（火災・爆発の防止）

熱、高温のもの、火花、裸火及び他着火源から遠ざけること。禁煙

（局所換気、全体換気）

排気/換気設備を設ける

（注意事項）

皮膚に触れないようにする

眼に入らないようにする

安全取扱い注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと

屋外又は換気の良い場所だけで使用すること

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること

保護手袋を着用すること

保護眼鏡/保護面を着用すること

指定された個人用保護具を使用すること

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙しないこと

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること

保管

安全な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと

施錠して保管すること

安全な容器包装材料

ポリエチレン

8 ばく露防止及び保護措置

ばく露防止

<管理濃度> : 設定されていない

<許容濃度> : 設定されていない

設備対策

排気/換気設備を設ける

洗眼設備を設ける

手洗い/洗顔設備を設ける

保護具

呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること

手の保護具

保護手袋を着用する。推奨素材：非浸透性もしくは耐化学品ゴム

眼の保護具

側面シールド付き安全眼鏡又は化学品用ゴーグルを着用する

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する

繰返し又は長時間取扱いの場合、耐浸透性の保護衣とブーツを着用する

9 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び科学的性質に関する情報

物理状態 : 液体

色 : 無色透明

臭い : わずかに炭化水素臭

臭いの閾値データ : データなし

pH : データなし

沸点又は初留点 : データなし

沸点範囲データ : データなし
蒸発速度データ : データなし
融点／凝固点データ : データなし
分解温度データ : データなし
自己促進分解温度 : データなし
可燃性（ガス、液体及び固体） : データなし
引火点 : 60℃以上
自然発火点 : データなし
臨界温度 : データなし
爆発加減限界および爆発上限限界／可燃限界
爆発加減 : データなし
爆発上限 : データなし
蒸気圧 : データなし
蒸気密度 : データなし
VOC : データなし
相対ガス密度（空気=1） : データなし
20℃での蒸気/空気-混合物の相対密度（空気=1） : データなし
密度及び／又は相対密度 : 約0.8（かさ密度）
動粘度 : データなし
動粘性率 : データなし
溶解度
水に対する溶解度 : 水に溶けやすい
溶媒に対する溶解度 : データなし
溶媒の溶解度 : データなし
n-オクタノール/水分配係数データ : データなし
粒子特性 : データなし

10 安定性及び反応性

反応性

反応性データなし

化学的安全性

通常の保管条件/取扱条件において安定である

避けるべき条件

熱、スパーク、火気及びその他の発火源

混触危険物質

強酸化剤

危険有害な分解生成物

一酸化炭素、二酸化炭素

1 1 有害性の情報

＜急性毒性＞	: 区分外（経口） 区分外（経皮） 区分外（吸入） 飽和状態の高濃度で頭痛めまい悪寒などの可能性あり。
＜皮膚腐食性・刺激性＞	: 区分3 区分3の成分を10%以上含むことより区分3とした。
＜眼の重篤な損傷・刺激性＞	: 区分外
＜呼吸器感作性又は皮膚感作性＞	: 分類できない。
＜生殖細胞変異原性＞	: 分類できない
＜発ガン性＞	: 分類できない
＜生殖毒性＞	: 分類できない
＜特定臓器・全身毒性（単回暴露）＞	: 分類できない
＜特定臓器・全身毒性（反復暴露）＞	: 分類できない
＜誤えん有害性＞	: 区分1 区分1の成分（ノナン）を10%以上含むことより区分1とした。

1 2 環境影響情報

＜生態毒性＞	: 区分3（水性環境急性有害性） 成分より推定 区分4（水性環境慢性有害性） 成分より推定
＜残留性・分解性＞	: 情報なし
＜生態蓄積性＞	: 情報なし
＜土壤中の移動性＞	: 移動性が高く地下水を汚染する可能性がある。
＜オゾン層有害性＞	: 分類できない 情報なし

1 3 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

- 環境への放出を避けること
- 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること
- 承認された廃棄物集積場で処理する

1 4. 輸送上の注意

国際規制

＜国連番号＞	: 1 2 6 3
＜品名＞	: 塗料又は塗料関連物質（ペイント、ラッカー、エナメル、ステイン、シェラック、ワニス、つや出し液、充てん液、ラッカーベース液、シンナーを含む。ただし、備考の欄の規定により当該危険物に該当しないものを除く。）
＜危険物クラス＞	: 3
＜容器等級＞	: III
＜緊急時応急措置指針番号＞	: 1 2 8

国内規制

＜陸上輸送＞	: 取扱い及び保管上の注意に従う
＜海上輸送＞	: 船舶安全法の規定に従う
＜航空輸送＞	: 航空法の規定に従う

1 5．適用法令

＜消防法＞	: 第4類 引火性液体第2石油類（非水溶性）危険等級III
＜化学物質排出把握管理促進法＞	: 第二種指定化学物質（ノナン）
＜毒物及び劇物取締法＞	: 非該当
＜労働安全衛生法＞	: 表示・通知義務対象物質（鉱油、ノナン） リスクアセスメント実施の対象物質（鉱油、ノナン）

1 6 その他の情報

参考文献

GHS対応による混合物（化学物質）のMSDS作成法の研修テキスト

中央労働災害防止協会

1 5 1 0 7の化学商品 化学工業日報社

J I S Z 7 2 5 2 GHSに基づく化学品の危険有害情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示および安全データシート（SDS）

J I S Z 7 2 5 3 GHSに基づく化学物質等の分類方法
製品安全データシート 各原料メーカー発行

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施 の上でご利用ください。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ（N I T E 令和6年度）です。